

2025 年 7 月 31 日

トヨタ紡織株式会社

2025 年度 第 1 四半期決算説明会 質疑応答要旨

Q 1 : 当第 1 四半期の実績について、一過性要因があれば教えてほしい。

A 1 : 第 1 四半期の営業利益 187 億円に関して、一過性の費用・収益が若干あるが、プラスマイナスあり結局、元に戻って約 190 億円が実力値と考えている。

Q 2 : 当第 1 四半期の営業利益の実績 187 億円について、計画に対する進捗をコメントいただきたい。

A 2 : 計画に対して少し上振れているが、諸経費の消費のズレなどがありそういった部分を除くと、ほぼ計画どおりの数値になっている。

Q 3 : 資料 11 ページ、通期の業績予想の営業利益の増減分析について、前回の期末決算時の予想と今回の予想での構成差と為替の差を解析してほしい。

A 3 : 前回公表の業績予想について、構成差と為替で入り繰りがあり、正しくは構成差 $\Delta 2$ 億円、為替 $\Delta 10$ 億円であった（前回公表値は構成差 $\Delta 40$ 億円、為替 28 億円）。その前回予想と今回とを比較すると、構成差が $\Delta 30$ 億（ $\Delta 2$ 億円 $\rightarrow \Delta 32$ 億円）となるが、これは主に日本地域である SUV 車種で当初想定よりも低グレードのほう売れ筋になってきていること、また別の SUV 車種で想定よりも生産台数が減少しているため車種構成の悪化を反映したことが要因。一方で、そういった減益影響を合理化の積み増しや、諸経費の効率化で吸収して、通期予想 800 億円を見込んでいる。

Q 4 : 資料の 6 ページ、北中南米地域の営業利益が通期予想 120 億円に対して第 1 四半期の実績は 46 億円と進捗が早く感じる。今後収益性としてどうなっていくのか。

A 4 : 米州の収益状況は合理化効果が数字として表れ始めている。ただ、今後 生産車種のモデルの切替えや、新工場の立上げ、関税の影響等もあり、通期予想は当初公表通り 120 億円を見込んでいる。

Q 5 : 資料の 6 ページ、北中南米地域の第 1 四半期決算の関税影響 5 億円はグロスなのか、ネットなのか。コストと回収の、グロスで分けた数字を教えてほしい。

A 5 : 関税の 5 億円はネットで、グロスにすると関税コストが 7 億円、回収分が 2 億円になる。8 月 1 日から 15%になる前提で年間の関税コストは 50M ドルから 70M ドル程度と試算している。この第 1 四半期においては関税影響について、取引先からの請求にタイムラグがあること、客先との価格転嫁の交渉が継続中であることなどから、合理的に見積もるのが難しく、今回の業績予想には織り込んでいない。当社の場合、製品の特性もあり以前より現地調達を進めてきており、影響額自体は売上の 0.5%にも満たないレベルだと思っている。社内努力で吸収しつつ、客先にも負担いただくところはいただいて、結果的に影響額をミニマムにしていきたい。

Q 6 : 北中南米地域の第 1 四半期の実績について、関税適用前の駆け込みの需要はあったか。

A 6 : 生産台数は昨年に比べて増えており駆け込み需要が含まれていたかもしれないが、その反動で下期、生産台数が落ちることはなく通期の台数見通しは維持されると見込んでいる。

Q 7 : 中国地域について、トヨタの生産台数よりも生産台数が少し低いように感じる。また、売上を生産台数で割った台当たり単価が減少しているが、解析いただきたい。

A 7 : 中国地域のトヨタの台数の伸びの中に BEV 車の分があると思うが、当社が受注できてない車種があり、少し伸び率に差が出ている。単価については、中国地域は中国 OEM の成長が著しい中で、相当な価格競争にさらされている。そういった中で、中国地域の事業者はさまざまな現場改善や広州地域小虎島での工場のスマート化等によりコスト低減に努めており、当社の中国地域の利益率は前年よりも上回っている。

Q 8 : 中国地域について、利益もしっかりと出ていると思うが、下期にかけて想定されるリスクはあるか。

A 8 : 中国の生産台数について、期初のときにリスクを織り込み、客先の計画台数から 5% 落として計画を組んだ。第 1 四半期の実績は、その 5% 落としたところから 6% 以上増産になっており、堅調に推移している。期初の予想を据え置いたことが少し保守的に見えるかもしれないが、台数は政府の補助金等による下支え効果もあると思われ、また中国 OEM の値下げ攻勢など、今後の動向を注視していきたい。

Q 9 : トヨタグループ内での持ち合い株の解消について、豊田自動織機の非公開化の件もあり、改めてお聞きしたい。また、トヨタ自動車保有する当社の株式について、アップデートがあれば教えてください。

A 9 : 政策保有株式の保有の適否について、毎年 当社社内で然るべきステップを踏んで検討している。また、トヨタ自動車が保有している当社の株式について、現時点で何も動きはなく状況は変わっていない。

以 上